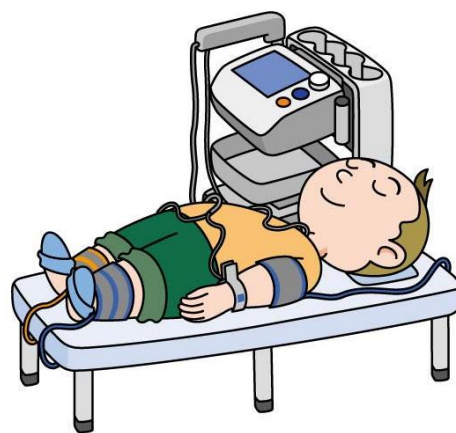


～臨床検査科より～ ABI 検査（足関節上腕血圧比）のご紹介

血管は加齢とともに誰でも硬くなり詰まりやすくなります（動脈硬化）。糖尿病や高血圧、脂質異常症、肥満などがあると進行が早くなります。動脈硬化が進行すると、死に至る病気の代表である心筋梗塞や脳梗塞を起こしやすくなります。重症化を予防するためには早期からの治療が重要です。ABI 検査は動脈硬化を調べる検査の一つです。

検査前準備

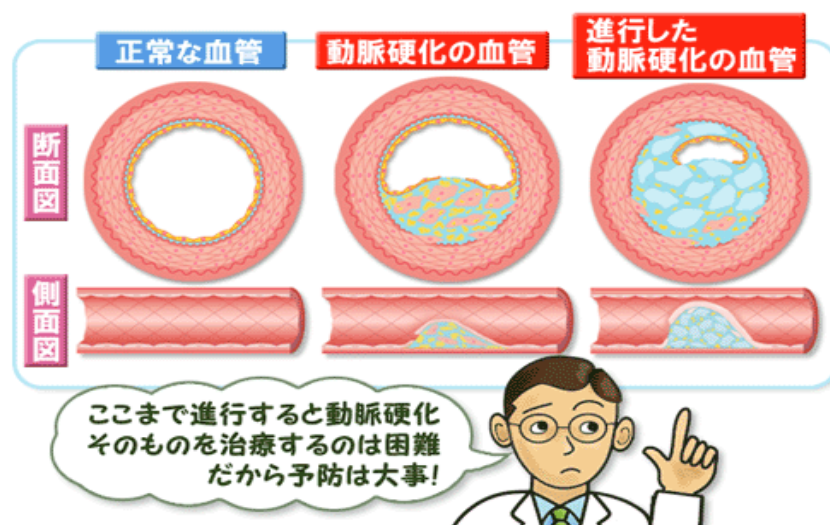
- ・食事制限はありません。
 - ・両腕、両足首に血圧計を巻きやすいよう上着は脱ぎ、薄着になっていただきます。
 - ・ベッドで安静にいただいた後、検査します。
 - ・検査時間は 30 分程度です。
- ※透析シャントの方は、反対側の腕で実施します。



ABI 検査（足関節上腕血圧比：Ankle Brachial Index）

両腕と両足の血圧を同時に測定します。

健常な人の場合、足関節の血圧は上腕の血圧より少し高くなりますが、動脈が細くなり、血流が悪いと低くなります。2つの血圧の比を比較することで、足関節にいくまでの下肢の動脈が狭窄・閉塞していないかをとらえることができます



※結果の見方※

ABI 1.0 未満は
動脈硬化で血管の内腔が
狭くなっている可能性が
あります。



糖尿病のコントロールには食事・運動などの生活習慣を変えることと、その継続が欠かせません。皆様の糖尿病療養に役立つ情報をこの「糖尿病だより」で発信していきます。